

夏かぜ症候群 手足口病 ヘルパンギーナ

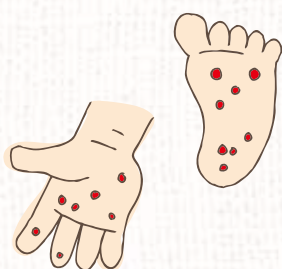
夏かぜ症候群について

発熱、身体や手足の発疹、口内炎、嘔吐、下痢などを起こす病気です。

ウイルスの種類により、熱だけや発疹、口内炎を伴う

などの違いがあります。

結膜炎を起こすこともあります。



【発疹】

- ・ ひじ
- ・ おしり
- ・ 手のひら
- ・ ひざ
- ・ 足の裏



【水疱】

- ・ 口の中
- ・ ほおの裏

手足口病

原因は？

エンテロウイルス属のウイルスが原因です。

エンテロウイルス感染症は夏に流行するので、

まとめて夏かぜ症候群とも呼び、

ヘルパンギーナや手足口病もその中に入ります。

潜伏期間は3～6日です。



エンテロ(腸管) + ウイルス = エンテロウイルス

口から体内に入り、腸の中で増殖することから名づけられました。

増殖した一部のウイルスが血液を介して全身に運ばれ、様々な症状を起こします。

治療法は？

ウイルスに対する薬剤はなく、解熱剤、整腸剤などの対症療法で自然治癒を待ちます。

ヘルパンギーナや手足口病で**口内炎がひどく**

飲食できない場合は、点滴や入院が必要になります。



合併症は？

熱性けいれん、ウイルス性髄膜炎などが比較的頻度の高い合併症ですが、これらは後遺症を残す恐れはありません。

まれに、重症な中枢神経合併症を起こす場合があります。

予防の ポイント

Point

流水での手洗い・うがい

ウイルスを含んだ便、唾液、目やに、咳のしぶきなどを介して、ヒトからヒトに感染します。うがいと手洗いが重要です。特におむつ交換の後など、手洗いをしっかり行いましょう。



できるだけ流水で！

潜伏期間 3～6 日 改善まで 数日～1 週間程度